

①『砂漠の水がめスイカ』

池谷 和信 氏（国立民族学博物館名誉教授）

アフリカで長年に渡り砂漠の民の研究をされた経験を基に、砂漠の民による野生スイカの利用例を通して、自然環境と人々とのかわり方をお話いただきます。



②『カタツムリの不思議な世界』

河野 甲 氏（かたつむりミュージアムラセン館代表）

国内外のカタツムリの殻に館長自ら作製した軟体部分を組み合わせた「リアルフィギュア」を実際に見ながら、カタツムリの不議な世界についてお話いただきます。



③『植物のかたちとはたらき』

渋谷 俊夫 氏（大阪公立大学教授）

樹木や草花、野菜などの身近な植物を通して、植物が動かずに生きていくための工夫について、その形や仕組みからわかりやすくお話しいただきます。



④『動物の命の不思議』 ※小学4年生以上が対象

長瀬 健二郎 氏（天王寺動物園元園長）

動物がどのような特徴を持っていて、その特徴がどのように生きることによって役に立っているかについてお話しいただきます。話の内容に応じて標本も見せていただくことができます。



⑤『花の命を絵にとどめる』

永田 萌 氏（イラストレーター・絵本作家）

イラストレーターとして、植物やいきものを深く観察し、色彩豊かにその命を表現されてきました。作品を描くうえで大切にされている思いや、表現することの面白さをお話しいただきます。



⑥『身近な昆虫を見てみよう』

藤江 隼平 氏（大阪市立自然史博物館学芸員）

身近な自然の中で出会える昆虫たちは、私たちの想像を超える能力を持っています。昆虫のからだのことから、食べ物や暮らしぶりなどを、わかりやすくお話いただきます。



⑦『生物多様性ってなかに：自然と私たちの暮らし』

前迫 ゆり 氏（元大阪産業大学大学院教授・奈良女子大学共生科学センター協力研究員）

わたしたちは森、里地里山、河川、海など自然の恵みをうけながら暮らしています。それは「生物多様性」の贈りものです。わたしたちの暮らしと自然のつながりについていっしょに考えることができます。

